

企業訪問
資源循環レポート
(株)マルコー商会

国内最大規模の
富士見リサイクルセンターが誕生
（株）マルコー商会



富士見リサイクルセンター

株式会社 マルコー商会

■代表者／鈴木 真理子

■所在地／豊橋市富士見町269-2

TEL 0532-74-7258 FAX 0532-74-7259

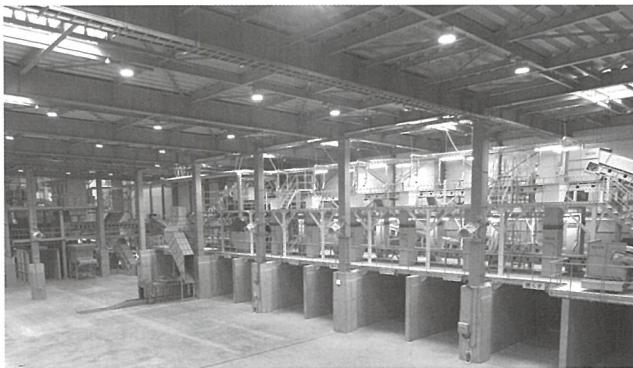


経営企画室 堀氏（左）と洪本会長（右）

平成29年11月建築解体と産業廃棄物処理を手がける（株）マルコー商会は建設系混合廃棄物のリサイクル施設「富士見リサイクルセンター」を完成させました。国内最大規模と称されるプラントを、会長の洪本正克氏と経営企画室業務管理責任者 堀倫治氏に伺いました。

■リサイクル率100%を目指す

同センターは国道23号豊橋東バイパスの小松原インターチェンジ近くに立地し、敷地面積約2万m²、延床面積約7千m²。様々な選別機や破碎機を計画的にレイアウトし、手選別以外の工程を自動化し、最大約900t／日の処理能力を誇るプラントです。開発コンセプトは『極限までの機械化と選別』、『再生材の高品質化』。建設系混合廃棄物を“安全・安心、そして適正”に処理してリサイクル率を飛躍的に高める最新鋭の中間処理施設です。運び込まれた混合廃棄物は、トロンメル、バリオセパレータが、サイズや重量で選別。その後、手選別ラインへと送られます。重量物、軽量物に分けられた混合廃棄物は人の手による選別が容易となり、資源を確実に取り出します。また、金属くずは磁選機で回収するなど、この段階で、主な資源はほぼ取り除かれます。そして、これまで再生利用が困難で埋立処分されてきた手選別後の残渣のリサイクルに挑戦。破碎機で粒度を細かくしたのち、磁力、風力、振動などを応用した様々な選別機を駆使し極限まで選別、再資源化に



挑戦をしています。さらに、施設内には水洗い設備を併設し、再生利用の妨げになっていた付着物やホコリを水洗浄によって徹底的に除去する事で高いリサイクル率と再生材の高品質化を実現しています。

■モデルプラントとして

建物は全ての処理設備が屋内に入るよう設計、搬入口には二重の高速シャッターを設置し内部から騒音・粉じんを出さないように対策を施し、施設壁面には6mのコンクリート壁を作製し周辺環境への振動や騒音対策がなされています。また日々大量に搬入される廃棄物の処理を行う作業場においては、粉じんが発生しやすいエリアに集塵ダクトを設置し、施設内はミスト噴霧器で空気中に粉じんが舞うのを防ぎ、作業員の作業環境を第一に考えられた対策が施されていました。他にも、浄化設備を備えて洗浄などに使った水を施設内で繰り返し使用し、外に排水を流さないようにして地域環境への影響を最小限にする努力をしています。また、ガラス張りの見学通路を設置、作業の見える化に取り組むとともに、環境教育の場としても積極的に活用していくことです。処理施設としては東日本大震災の復興事業での知見を活かし、一つの施設で選別・破碎設備と水洗い設備を併設し、完成度の高い製品にするため今考えうる最新の技術を盛り込んだ施設です。

■人と企業の成長

(株)マルコーセンターは、行動力と人間力を身につけた、リーダーシップのある人材育成を目指しています。洪本会長は「35年前に解体業という3Kの仕事をあえて選んで起業しました。当時は誰もやりたがらない仕事でしたが、人がいればいるだけの仕

事があり、利益となって会社が成長しました。会社が大きくなるに伴い人材育成が社会から求められるようになり、安全衛生の観点から厳しく指導してきた時期もありました。今は経済成長と共に人権を重んじ、互いを認め高め合うというコンセプトのもと、社員の能力を最大限に發揮できる社内環境に力を入れています。大切な人材を一丸となって、時代に合わせた教育を行い、人づくり、組織づくりのレベルアップを図っています。更にグローバル化時代における企業の成長は、自社のみの成長を考えるのではなく、協力会社と共にいかに大きく飛躍することができるのか、掛け算のように事業を拡大する方向で考えています。」と経営者としての展望を語りました。

このような洪本会長の努力が実を結び、同社は3月28日(水)豊橋商工会議所内において、「第6回環境経営賞 最優秀賞」を受賞しました。受賞理由は『リサイクル率を高めたプラントの建設・運転により高い再資源化率を達成したことのみならず、作業環境への配慮や環境教育に貢献する取組みは、環境経営として高く評価されるものである。』

とのことです。※受賞理由は豊橋商工会議所HP資料を引用



「富士見リサイクルセンター」内には、洪本会長の経営哲学がインストールされたアンドロイドがあり、社員から慕われております。人に寄り添い、洪本会長の想いを継承するアンドロイドは、テレビ取材を受け全国にも紹介されました。

